

第6回「木のグランドフェア」に寄せて

成 澤 直 人

はじめに

北海道立林産試験場と(社)北海道林産技術普及協会の共催により第6回「木のグランドフェア」を7月26日から8月24日にかけて開催しました。

一般市民が木材への関心を高め、木材の需要拡大を図るよい機会となるべく、様々な催しを行ないました。期間中およそ2万1千人の来場者があり、木に触れ、木材の知識を深めていました。ここではグランドフェアの概要を紹介します。

木を暮らしに活かす集い

近年、住宅が人々の健康に与える影響について、高い関心がよせられています。そこで「木を暮らしに活かす集い」として、木と健康・木と住宅の関わりについて、講演会・展示会・相談室の3つのイベントを行いました。これから住宅を建てようと考えている一般市民や、工務店の方々を対象とし、木質系材料を用いた住宅の優位性について理解の促進を図りました。

(1) 講演会「木を使った家づくり

快適に暮らすために」

木質系材料を住宅に使用した場合に、住環境と健康にどのような影響があるかについての講演会を旭川市

大雪クリスタルホールにて行ないました。(写真1)。

基調講演は「居住環境資材としての木材」と題して、島根大学総合理工学部教授・中尾哲也氏から木材の有用性について、資源問題から安全性・快適性・健康面まで全般にわたり科学的データを基にお話しいただきました。

北海道大学農学部教授・寺澤實氏をコーディネーターとして迎えたパネルディスカッションは、「健康と木」というテーマを設定しました。まず、寺澤教授より各パネリスト(中尾教授のほか、医者・木材業者・建築業者・一般消費者の5名)の紹介がありました。各パネリストからは、医学の視点からみた木材の効用や木材を使った住宅の住み心地まで、それぞれに話題提供していただき、その後会場も含めての活発な意見交換がなされました。

(2) 木質系建材展

最近、住宅の室内空気の汚染など、いわゆるシックハウス問題に注目が集まっています。そこで、シックハウス対策として開発された木質系建材を展示し、新しく住宅を建てる上での情報を提供しました(写真2)。無垢の広葉樹のフローリングを始め、遮音性・断熱性・衝撃吸収性に優れた天然コルク床タイルや、住宅



写真1 木を暮らしに活かす集い 講演会



写真2 木質系建材展

の調湿機能を高める備長炭入り畳、植物成分などを用いた自然塗料など、特に健康面や安全面に配慮した製品（14社から51種）を展示しました。

(3) 木造住宅・建材相談室

これから住宅を建てようと考えている方を対象に、木造住宅の設計や内外装材、建具などの相談を受けました。中には北海道産広葉樹の内装材を使いたい、という道外消費者からの相談もありました。

全国木のおもちゃ・パズル展

全国各地から集めた木のおもちゃとパズルに実際に触れてもらい、木製品の良さを実感してもらいました（写真3）。25社から233種の出展があり、幅広い人気を集めました。ケン玉などの昔ながらのおもちゃから、ドミノ倒しや音の出るおもちゃ、カラフルで頭を使うパズルなど、子供はもちろん大人まで時間を忘れて楽しんでいました。

大型木製遊具展

自由に遊んで体験できるオルゴール付きすべり台、木の砂場などの木製遊具を林産試験場内のログハウス「木路歩来」^{ヨロツキ}に設置しました（写真4）。連日、たくさんの子供たちが、木製遊具で元気に遊ぶ光景をみることができました。

第2回北海道親子日曜大工教室

7月27・28日、8月1～3日の5日間の日程で、トドマツ間伐材を使い、ガーデンセット、フリーラックなどの木製家具づくりを親子共同で体験してもらいました（写真5）。普段あまり木工などしたことがないのか、不慣れな手付きながらも子供と協力して完成させるお父さんもいれば、高い技術力とオリジナル性で主催者側を驚かせる親子もいました。中には「家に持って帰ってさっそく使うよ」といううれしい言葉もありました。

完成した66点の作品の中から、独創性、工作技術、親子のチームワークなどが優れていたものを選出して、「親子あいであ賞」「親子たくみ賞」「親子ふれあい賞」の北海道知事賞3点や各賞を決定しました。

第5回北海道子ども木工作品コンクール

小・中学生の自由な発想で創られた木工作品（個人・団体）と、アート彫刻板を用いたレリーフ作品のコン

クールを実施しました。全道各地から33校・243点の応募があり、作品は木と暮らしの情報館2階に展示しました。応募作品の中から木の特徴をうまく使った優



写真3 全国木のおもちゃ・パズル展

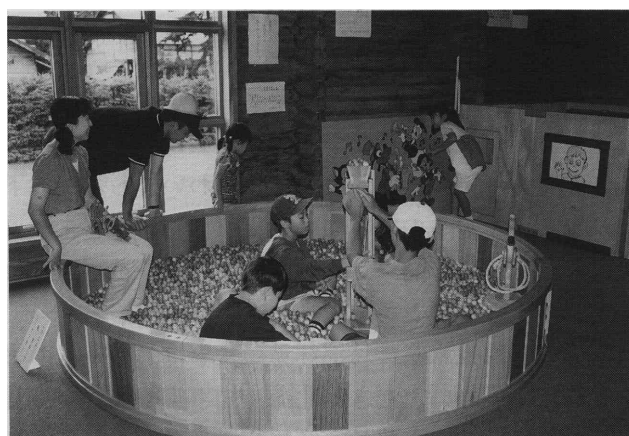


写真4 大型木製遊具展
木の砂場で遊ぶ子供たち



写真5 北海道親子日曜大工教室
ガーデンセットを作る親子



写真6 ドンコロ・木っ端市



写真7 オガコ絵・ウッドプレートづくり

秀作品に、北海道知事賞や各賞が贈られました。動物をかたどったものや実用的な小家具など、今年も優れた作品が多数ありました。

ウッドサマーフェスティバル

木のグランドフェアのコアイベントとして、8月9・10日に行いました。あいにく天気には恵まれませんでしたが、建材展やおもちゃ・パズル展に加えて様々な催しが行われ、家族連れなどでにぎわいました。以下にフェスティバルの内容について簡単に紹介します。

こども木工作品コンクールおよび親子日曜大工教室コンクールの表彰式

馬籠^{まのり}北海道水産林務部林務局長をはじめ多くの来賓に御出席をいただき、北海道知事賞や金賞を受賞した児童・生徒や親子に賞状が授与されました。また知事賞受賞者には協賛の旭川信用金庫、JR北海道から特別賞が贈られました。

ドンコロ・木っ端^{ぼんぼり}市

旭川道有林管理センターや旭川市内の木材会社から提供していただいたドンコロや端材を安価で販売しました(写真6)。木工が趣味の方などから好評を得ました。

木工教室

簡単な木工工作の体験コーナーとして、バードテーブル(小鳥のエサ台)を作ってもらいました。トンカチを持つのが初めて、という子供も真剣に取り組

んでいました。

林産試験場一般公開

一般の方々に、林産試験場の仕事をよく知ってもらうため、試験場職員が場内を案内しました。

オガコ絵・ウッドプレートづくり

旭川道有林管理センターに出店していただき、子供たちに大変な人気でした(写真7)。

地場産品即売・売店コーナー

地元のスイカやメロン、トウモロコシなどが好評でした。

おわりに

開催期間中は、家族連れや旅行中に立ち寄った方など、様々な年齢、立場の方々に来ていただきました。このイベントで木に触れて、木の知識を得たことで、木に対する関心を高めていただけたことと思います。今後とも林産試験場では、木材、木、森林の素晴らしさを再認識してもらう場として、また林産試験場の仕事を知ってもらう場として、このようなイベントを続けて行きたいと考えています。

最後になりますが、今回のイベントでは水産林務部、旭川道有林管理センター、旭川営林支局をはじめ、多くの関係者からご支援、ご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございました。

(林産試験場 普及課)